

# 2019年度三郷サンサンハウス事業報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

## I 事業実施の方針

### [1 はじめに]

「住み慣れた地域・家で最後まで住み続けられるよう支援する」という理念を実現するため、ひとりで暮らしなくなった時入居できる「高齢者の家」、認知症の方が安心して過ごせる「デイサービス」、機能訓練による「介護予防、自立支援」、通い・訪問・泊りを一貫して支援する「萌の里」、在宅での暮らしを支援する「訪問介護」、一人一人に必要かつ適切な支援につなげるケアマネ業務。その他「助け合い」や「サロン」等介護保険では出来ない支援や集いの場の提供に加え介護保険外の機能訓練等々、地域に必要と思われる事業に取り組んできました。

しかし今、福祉施策の後退で年々介護事業運営が厳しくなり、「介護保険あって介護なし」とまで言われるように、介護事業所の縮小・閉鎖が広がっています。

#### A.1 年間の取り組み

- この数年、厳しい事業運営に事業継続の成否が問われる中、理念にそった介護事業の継続をめざし経営強化・黒字経営を第一課題として取り組みました。
- 適材適所の人材活用、退職金制度の導入、萌の里の施設改善の課題は持ちこしとなりました。

#### B.経営改善への取り組み

- 経費の大部分である人件費を経常収入の80%以下にという目標を追求したが、一部で未達成に終わりました。しかし、この数年の赤字決算を解消すべく必死で取り組み、多額の寄付金を頂けたこともあり、黒字決算になりました。
- 職員研修によるスキルアップの取り組みとともに、職員の確保は十分とは言えないが、多くの事業所で同じ人員でも業務をこなす努力が実りつつあります。  
事務局は困難な状況を承知の職員が事務局長を担い、事務局員全体で支え合ってきました。多くの事業所で管理者の世代交代が進んでいます。
- 昨年秋サンサンニュースで寄付のお願いをし、多くの方の協賛を頂き、中には、とまどうほどの多額の寄付も数件いただきました。おかげで、長年懸案のあかねの里の改修や経営改善に役立てることが出来ました。

#### C.地域との関わり

- 萌は地域の高齢者が集える場を提供し、地域の行事に参加し、地域から多くの支援を受けています。また、あかねの里は認知症ケアの専門職として認知症サポートー養成講座を地域に向けて定期的に開いてきました。
- ニュースでの寄付の訴えに地域の方々から多額の寄付をいたき、地域になくてはならない事業所としての役割を担うよう応援いただいと受け止めています。

## [2. 特定非営利活動に係る事業]

### (1) デイサービスセンターあかねの里（介護保険法に基づくデイサービス事業及び第1号通所事業） A.1年間の取り組み

○前半、月の延利用数が180以上あったが、半ばで約140前後まで落ち込み、現在160以上に回復しつつあり、利用者の増減の幅が大きく一定の人数を維持する事が難しいと感じた一年でした。

#### B.経営改善への取り組み

○管理者が交代し新しい職員体制を築きつつあります。  
○経営状況について、具体的な数字を共有することにより、職員一人一人が向上心を持って業務に取り組めるようになって来ています。

#### C.地域との関わり

○9月にサポーター養成講座を開催し、約20人の参加がありました。今後も継続していく必要性を感じています。

### (2) デイサービスセンターくるみ（介護保険法に基づくデイサービス事業 A.1年間の取り組み 及び第1号通所事業）

○2012年にオープンし9年目となります。開所当初からの利用者や新たな利用者がともに楽しく参加され、機能訓練デイサービスの必要性を強く感じました。  
短期間集中リハビリプログラムの利用があり、出掛ける事への意欲向上につながりました。今後も、自信を持ってその役割を果たしていきます。

○くるみの役割は運動による身体機能の改善はもちろんのこと、目立った変化がなくとも、脳活性化や精神的、身体的機能の維持改善に役立つ機能訓練を楽しく継続するよう支援することです。そのために、利用者との信頼関係づくりを基本に、楽しい時間の創造・共有に努めました。

#### B.経営改善への取り組み

○「介護予防サービス」では、昨年度の心身機能の維持向上成果を評価され、今年度も「事業所評価加算」を取得できました。

○職員の育成においては、管理者と職員の面談により、本人の目標と事業所として担ってほしい姿を明確にし、より具体的な目標に取り組むこと、事業所の質の向上につながりました。職員一人一人が個性を発揮しながら、丁寧な対応と優れた介護技術を身につけることで、利用者に喜ばれる空間づくりができました。

#### C.地域との関わり

○介護保険外事業として、「くるみ style」を開始し延432人の利用がありました。介護保険を利用できない方の身体機能改善・向上、健康維持に役立っています。

○デイあかねの里とデイくるみとの合同の運営推進会議を1年に2回開きました。  
利用者関係や地域関係の参加者から様々な意見や提案をいただき運営に活かしています。

### (3) ヘルパーステーション（介護保険法に基づく訪問介護事業及び第1号

#### A.1年間の取り組み 訪問事業

○利用登録者は100名以上ですが、ひと月の訪問ヘルパー利用は50名、介護タクシーのみは30名、月平均で合計80名前後の利用がありました。1ヶ月の各支援の平均回数は、身体介護中心型が100回、生活援助が180回、介護タクシーが150回でした。介護タクシーは、非常勤ドライバー1名が主となり、常勤2名、非常勤1名の4人で4台の福祉車両で送迎を行いました。

○昨年度末に常勤職員が1名退職したため、常勤2名（管理者、サービス提供責任者）、非常勤7名（ヘルパー5名、ドライバー1名、事務員1名）で活動しました。

#### B.経営改善への取り組み

○毎月行うヘルパー会議では個々のスキルをあげるための研修に加え、利用者・家族への生活上のアドバイスや、事故防止のための室内環境の改善等について話し合い、よりよい在宅支援ができるように努めました。

○ケアマネージャーへの報告や連絡、提案などを活発に行い、計画の変更や新規依頼にも迅速に対応をすることで、利用の増加に努めました。

○常勤職員が減りましたが、訪問曜日や時間変更による移動時間短縮等、シフトの工夫により利用人数、利用回数ともに昨年度と同程度を維持できたことで人件費が減少し、経常収益が増加しました。

#### C.地域との関わり

○調理や掃除、買物、洗濯などの生活援助利用が多いのは、利用者の70%が高齢者のみの世帯（40%が単身、30%が高齢夫婦世帯）で家事支援が必要な方が多いためです。また、医療と介護の連携により最期まで自宅で暮らすことが可能となり、年々身体介護のニーズが高まる中、地域での役割を担って行きます。

### (4) 小規模多機能ホーム萌の里（介護保険法に基づく小規模多機能型居宅

#### A.1年間の取り組み 介護事業

○職員不足の中、他の事業所の職員の応援も得て、利用者にはゆったり過ごしていただくことができました。一方住環境が整わないことで、在宅暮らしをあきらめ施設入所になる方もあり、心痛む思いをしました。

#### B.経営改善への取り組み

○利用者が過ごす場所を中心に、環境整備を行いました。日々の業務の中で職員同士が話し合い働きやすい・過ごしやすい環境作りに努めました。

○毎月の萌会議では、カンファレンスを中心に会議を行いました。会議へ参加できない職員への伝達には、議事録で共有し、事故が起こらないように努めました。

○外部研究や、勉強会を今年度は十分に行うことができなかった。

#### C.地域との関わり

○地域行事に利用者と参加することで、地域の方と顔なじみの関係を作ることがで

きました。

○防犯・防災では 11 月に避難訓練を、1 月には救命救急の講習に参加し、職員の防災・防犯への意識を高めることができ、今後も積極的に参加していきます。

○地域に開かれた事業所として運営推進会議を 1 年に 4 回開きました。

## (5) 居宅介護支援事業所(介護保険法に基づく居宅介護支援事業)

### A.1年間の取り組み

○職員体制は常勤管理者 1 名、常勤職員(R1.8～非常勤⇒常勤)1 名、非常勤職員(R2.1～嘱託常勤⇒非常勤)1 名です。

○利用者担当件数 100 名を維持すること(居室内収支を黒字にするため)を、毎月の経営目標に掲げてきました。その結果、入院中の方や区分変更申請中の方を含めると 100 名を大きく下回ることはありませんでした。

○居宅介護支援事業所の管理者要件が主任ケアマネでなければならない経過措置が 6 年延長となりました。(2027.3.31 まで) 但し、現職の管理者が、期限まで管理者を担い続けていく場合に限り認められることとなりました。

○今期中、13 名の利用者が逝去されました。内、自宅で 8 名、緩和ケア病棟(ホスピス)で 2 名、病院で 3 名が最後を迎えられました。自宅で最期を迎える、という方の看取りの時期に入ると、往診や訪問看護や訪問介護が力を出し合い、本人のみならず、家族の心身面を支えていきます。その方の人生の大切な時、心身面ではデリケートな時、ケアマネージャーとして寄り添い、過不足なくサポート体制を整えていくことの重要さ、難しさを実感しました。

### B.経営改善への取り組み

○各地域包括への新規利用者獲得のための働きかけは、昨年度のように積極的には行わず、結果、各地域包括からの依頼や紹介は、毎月 1 件前後に留まりました。しかし、昨年度の働きかけによって各地域包括との関係性がより良いものとなり、地域内の情報交換や連携に役立ちました。

○法人内の認知症対応型デイと小規模多機能居宅介護の利用に繋ぐ役目を十分果たせず、マッチングをどうするべきなのか今後の課題となりました。

### C.地域との関わり

○ターミナル期に、緊急で需要が高まる身体保清や排泄交換等のサービスを、法人内のヘルパーステーションとの連携によって、ケアプランの中にスムーズに導入できました。また、在宅療養に欠かすことのできない、地域の訪問看護ステーションとも連携し、訪問看護師の存在をとても心強く感じました。

## (6) ヘルパーステーション(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援

### A.1年間の取り組み するための法律に基づく障害福祉サービス事業)

○利用者は今年度、入所等で 2 名減、新規 1 名増で、現在は不定期の家事援助

が1名、通院介助が2名です。

#### B.経営改善への取り組み

○訪問は介護保険のヘルパーが兼務で行っています。送迎と院内介助が必要な通院介助は常勤職員で対応しています。障害の特徴についての理解や知識を深め、細やかな支援ができるように努めました。

○相談支援員や訪問看護、就労支援センターへの報告や連絡、提案などを活発に行い、連携して支援を行いました。訪問件数減により収入が減りましたが、介護保険と一体的に事業を行っているため、人件費のみの支出となり、収入に応じた収益が確保できました。

### (7) 特定相談支援事業所（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく特定相談支援事業）

#### A.1年間の取り組み

#### るための法律に基づく特定相談支援事業)

○管理者1名、相談支援専門員2名(いづれも居宅と兼務)の体制。

○4名の利用者。それぞれの計画作成・モニタリングを行っています。

### (8) 介護保険法に基づく訪問看護事業 今年度の実施計画なし

### (9) サンサンサロン（自立支援事業）

#### A.1年間の取り組み

○サロンのスローガンである「ホッと一息、憩いの場」であるようにこころがけました。  
思い切りのおしゃべりや手芸や編み物を楽しみながら自由に過ごされました。

○麻雀サロンは、男性3名女性5名の利用者の参加で和気あいあいと集える場となりました。場所・備品の関係で参加希望者を断ることになり残念です。

○サンサン体操は、認知症予防を目的にした脳トレゲームです。皆さんおしゃべりに夢中になる事もありますが、楽しんで頂けました。

#### B.経営改善への取り組み

○ホームページを毎月更新しました。

#### C.地域との関わり

○三郷町の文化祭に参加し、利用者の作品を見て頂きました。

○夕陽ヶ丘診療所の健康祭りに参加し、利用者・ボランティア・スタッフの手作り作品を販売しました。また、事務所でも常時販売しています。

### (10) 高齢者の家あかねの里（共同住宅事業）

#### A.1年間の取り組み

○入居者が安心して過ごせるよう家族の要望や意見を聞き、職員で情報を共有してきました。

○入居者と散歩や外出の場を設け楽しい時間を過ごす事が出来ました。

## B.経営改善への取り組み

- 不具合が生じた設備・環境面の修繕を行いました。屋根の修理・エアコンの入れ替え等多額の費用が必要でしたが、寄付などの支援を頂き着手できました。
- 日中の支援を一人体制で行えるよう業務改善に取り組み、ひとり一人の介護力が育っています。

## C.地域との関わり

- 地域交流への参加は難しく清掃のみの参加となっていますが、今後防災訓練等入居者と一緒に参加出来ればと考えています。
- 24時間職員在中の事業所として、設置しているAEDが地域に役立つようアピールしています。

### (11) 24時間生活支援事業（たすけあいの会）

#### A.1年間の取り組み

- 今年度の利用者は 16 名で、家事援助や保険外の入浴見守りの定期利用が 4 名その他は不定期で大掃除やゴミ出し、通院付添、同居家族不在時の要介護者の見守りの支援など、月平均で 6 名の利用がありました。

#### B.経営改善への取り組み

- 活動は訪問ヘルパー やサンサンハウスの職員が兼務で行いました。体調や生活での困りごとの相談に対しての助言を行うなど、介護事業所が行うメリットを活かした支援を行いました。
- 積極的な営業活動はしていませんが、近隣事業所のケアマネージャーからの問い合わせは多く、新規利用も 7 件ありました。介護保険と一体的に事業を行っているため、人件費のみの支出となり、収入に応じた収益が確保できました。

### (12) ボランティア育成及び広報・研修事業

#### A.1年間の取り組み

- 今年の新年号で 53 号となるサンサンニュースを、法人会員、利用者、関係事業所、地域に配布しました。当法人の広報活動の要であり、年 3 回作成しています。経営支援のための寄付を募ったところ、大変大きな反響がありました。
- ボランティアとして当法人の活動にご協力いただいている皆様との交流とお礼を兼ねた親睦会を行っています。参加したボランティアの連帯感から、出来ることはなんでも支えていきたいとの感想をいただきました。

#### B.経営改善への取り組み

- ホームページを活用して、事業所の日々の報告や、当法人の活動をお知らせしています。
- 年3回の職員研修や外部からの講師を招いての勉強会を開き、職員の育成に努めています。

- 当法人の取り組みや活動について、本部建物前の掲示板を使ってお知らせしています。

**(13) 福祉タクシー（外出支援事業）**

**A.1年間の取り組み**

- 送迎は介護保険利用が主で、保険外の福祉タクシー利用回数は月に 0～2 回程度でした。

**B.経営改善への取り組み**

- 普通自動車二種免許と介護福祉士資格を持つドライバー1名、登録車両1台で送迎を行いました。安心できる乗降介助技術を持ち、安全に気持ちよく利用いただけるよう車両の点検や清掃に努めました。
- 利用は予約制ですが、タクシー券の問い合わせや、近隣のケアマネージャーや病院からの依頼があるときは、可能な限り緊急利用にも対応しました。

**(14) 給食サービス事業** 今年度の実施計画なし

**(15) グループホーム事業** 今年度の実施計画なし

**(16) 地域交流支援事業**

**A.1年間の取り組み**

- 自治会や防災組織と協力して、地域や行政の活動に理解を深め、積極的に取り組みました。
- 萌の里を中心として季節を楽しむ観月祭や、地蔵盆、流しソーメン、月々の恒例の「おばあちゃんの駄菓子屋」など、地域の交流の場となるよう努めました。
- サンサンサロンの手作り作品を地域や三郷町のバザーに出品しています。  
収益はサロンの利用者のために使っています。

**[3. その他の事業]**

**(1) 物品販売事業**

**A.1年間の取り組み**

- 掲示板やニュースなどで、サンサンサロンの手作り作品の販売の周知に努め、その活動を応援しました。
- 利用者や地域に喜ばれる、地元産の新鮮野菜やお茶、カレンダー、花苗等を継続して販売しました。

## II 事業の実施報告に関する事項

### [1. 特定非営利活動に係る事業]

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業員の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出見込額(千円)
介護保険法に基づく デイサービス事業及び 第1号通所事業	認知症対応型デイサービス	通年	デイサービスセンター あかねの里 (東信貴ヶ丘1-5-12)	9	三郷町周辺の 認知症高齢者 延べ1,800人	22,542
介護保険法に基づく デイサービス事業及び 第1号通所事業	機能訓練型デイサービス	通年	デイサービスセンターぐる み(東信貴ヶ丘1-2-27)	8	三郷町周辺の 要介護者 延べ2,300人	10,721
介護保険法に基づく訪 問介護事業及び第1号 訪問事業	訪問ヘルパーの派遣サービス	通年	要介護者の自宅	8	三郷町周辺の 要介護者 延べ1000人	15,880
介護保険法に基づく小 規模多機能型居宅介 護事業	通い・訪問・泊りのサービスで 利用者の在宅生活を1日24時 間365日を支援	通年	小規模多機能ホーム萌の 里(三郷町三室2-5-22) 及び利用者の自宅	27	三郷町周辺の 要介護者 延べ250人	46,538
介護保険法に基づく居 宅介護支援事業	相談援助及び介護支援計画作 成	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 要介護者 延べ900人	10,288
障害者の日常生活及 び社会生活を総合的 に支援するための法律 に基づく障害福祉サー ビス事業	障害者の自立支援のための サービス提供	通年	要介護者の自宅	5	三郷町周辺の 要介護者 延べ50人	359
障害者の日常生活及 び社会生活を総合的 に支援するための法律 に基づく特定相談支援 事業	障害者の自立支援のための相 談支援	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 高齢者 延べ20人	225
介護保険法に基づく訪 問看護事業	ケアプランによる訪問看護		今年度事業計画なし	0		0
自立支援事業	介護保険外の介護予防デイ サービス	週3回	サンサンサロン (美松ヶ丘東1-10-9)	1	三郷町内の高齢 者延べ1,100人	1,376
共同住宅事業	住宅型有料老人ホーム	通年	高齢者の家あかねの里 (東信貴ヶ丘1-5-12)	8	三郷町内の要介 護高齢者 延べ72人	6,497
24時間生活支援事業	高齢・障害・疾病・育児・出産 等で支援が必要な人への24時 間支援事業	随時	利用者の自宅	8	三郷町周辺の 利用者 延べ80人	318
ボランティア育成及び 広報・研修事業	地域住民や介護従事者等を対 象とした介護技術や知識等の 研修事業	通年	三郷町周辺	5	三郷町周辺の 住民不特定多数	7
外出支援事業	要介護・要支援・身心障害者 等の通院等の移送支援	通年	利用者の自宅から病院等 外出目的地	1	三郷町周辺の 高齢者等 延べ20人	7
給食サービス事業	楽しい会食、配食で在宅高齢 者の食生活を支援する		今年度事業計画なし	0		0
グループホーム事業	認知症高齢者を対象としたの 共同住宅		今年度事業計画なし	0		0
地域交流支援事業	地域の人々の要望を取り入れ た交流の場の提供	通年	萌の里あづまや(三郷町三 室)、デイサービスぐるみ (三郷町東信貴ヶ丘)	10	三郷町周辺の 住民不特定多数	571

### [2. その他活動に係る事業]

物品販売事業	新鮮・安全野菜や食料品、手 作り品などの販売。 収益は非営利活動に充当。	通年	事務局ホール(三郷町東 信貴ヶ丘1-2-27)	3	三郷町周辺の 住民不特定多数	121
--------	--	----	----------------------------	---	-------------------	-----



